

## 令和4年度 会派議員派遣報告書

会 派 名	創志会
議 員 名	岡富雄・伊藤勝也・杉谷辰次・村上真以
議員派遣先名	衆議院議員会館（東京都千代田区永田町） 愛知県犬山市議会（愛知県犬山市犬山東畑）

### 派遣費用

科 目	支出額	摘 要
調査費	272,640円	交通費、宿泊費、日当
調査費	1,809円	視察先土産代
合 計		274,449円

### 1 三原市での課題と派遣の目的（本市の現状と課題を明確に）

#### 1 衆議院会館

三原市では、農業従事者の高齢化・減少問題や鳥獣被害・肥料価格の高騰等の問題を抱えているため、それぞれの問題解決に向けて、農林水産省職員と農業支援について意見交換と要望活動を行った。

#### 2 愛知県犬山市議会

三原市議会は、市民参加や情報発信・活性化に努めているが多くの課題があり、進んでいないため、犬山市議会の先進的事例（議員間討議・市民フリースピーチ等）の市民参加型議会運営について視察した。

## 2 実施概要 (1カ所目)

実施日時	派遣先	衆議院議員会館
2023年1月30日 13:30~15:30	担当部局	農林水産省
報告内容・所感	<p>農林水産省から鳥獣被害防止対策、米価需給安定、肥料価格高騰について説明を受けた。</p> <p>(鳥獣被害防止対策)</p> <p>鳥獣対策では、個体数の管理、侵入防止、生息環境管理の3本柱が重要であり、被害防除のため、国の予算として96億円が組まれている。侵入防止柵の整備では、直営施工は定額。請負施工の場合は1/2補助等がある。地域協議会等で、被害防止計画を策定し、県から国へ要望し、予算が組みれるといった順になっている。電柵を補助する除草シートも令和5年から補助対象となる。</p> <p>また、地域の捕獲人材の確保及び、技術向上を進める為の補助金制度に力を入れている。</p> <p>ICTを活用した被害対策の改善に向けた取り組み支援も始まっていた。</p> <p>中山間地域の農業に対してもモデル事業としてデジタル技術の導入や改善の支援行われていることが分かった。</p> <p>(農業肥料について)</p> <p>肥料価格高騰対策では、肥料の三要素である窒素・リン酸・カリウムは輸入に頼っているため価格が高騰していることや、化学肥料低減に向けて取り組む農業者に対する肥料費の支援について説明を受けた。</p> <p>(米価需給安定)</p> <p>米価の変動については、全国的には食用米が余っている状況であることや、水田活用の直接支払交付金の説明を受けた。水田を活用した代替え作物として麦、大豆、飼料作物を生産することや畑地化による高収益作物等の定着の支援がある。米価の変動等による収入減少については、収入保険又は、収入減少影響緩和交付金で対応している。</p> <p>聴き取り後、①有害鳥獣の対策費の拡充について②集落法人の見直し設立に対する支援について③農業で生活できる所得の確保について④農業肥料の高騰対策について農林水産省と意見交換を行い、農業施策の拡充の要望を行った。</p>	

<p>市政に活かせること（まとめ）</p>	<p>三原市の鳥獣対策は、鳥獣の侵入防止柵の対策と捕獲に対しての対策が重要視されているが、鳥獣対策の予算配分は各市町それぞれ力の入れるところに違いがあるので、より有効な対策を検討することが必要である。</p> <p>また、ICT 活用については事業支援だけでは収益に繋がることがみえにくいですが、データ管理をすることで収益をあげている農家の方もいる。使い方や伝授する人材の育成が必要であると考えます。</p> <p>それぞれの新たなモデル支援や予算など使い方についても工夫が必要だと感じた。</p> <p>地域課題も様々なため、引続き担当課に要望を伝え、担当課や県との連携を図っていきたい。</p>
-----------------------	---

## 2 実施概要 （2カ所目）

実施日時	派遣先	愛知県犬山市
2023年1月31日 13：30～15：00	担当部局	犬山市議会
<p>報告内容・所感</p>	<p>犬山市議会で行われている議会活動について聞き取りを行った。</p> <p>市民フリースピーチは、市政に関心を持ってもらう目的で開始され、議場で市民が議員に対し、市政について、5分間のスピーチを行っている。毎回4名程度の発表があり、市民フリースピーチの意見は全員協議会で協議を行い、政策提言に繋がったケースもある。</p> <p>女性議会では、議員を中心に女性議会実行委員会を立ち上げ、事前の話し合いのもと議場で一般質問が行われており、参加者も10名程であった。</p> <p>意見交換会では、毎年様々な形態で実施されており、著名人の講演会も同時開催する時もあり、参加者は多くて100名である。</p> <p>親子議場見学会では、若い世代の生の声を聞く機会として、議会をより身近に感じてもらう目的で開始されていた。議場見学や質問コーナーを設けて交流されている。</p> <p>それぞれ、議員が中心となり会を進められており、議員の結束力を感じた。また、一般質問に対しての議員間討議も行われるなど、会派の垣根を超えた議員同士の意見交換の場も重要視されていた。</p>	

市政に活かせること（まとめ）	<p>犬山市議会では、議員間討議や市民スピーチなどの際、運営する委員会を立ち上げ、会の終了後に振り返りを行い、毎年新たな取り組みがなされている。一般質問に対しても疑問点があると他の議員から議員間討議の提案が行われている。</p> <p>市議会だよりも話し合いを繰り返し、読みやすさの工夫をされており、広報誌を何パターンか作成し、市民投票も行われている。読みやすさを考慮したデザインや字数に工夫を感じた。</p> <p>通年議会に対しては、会期を通年とすることによって常に議会が開催できる状況となり、議会の活性化に繋がると感じた。</p> <p>本市でも議員同士の思いの交流の場を大切にし、一人でも多くの方に議会活動に関心を持っていただけるよう今後も自由討議、高校生議会、意見交換会を行っていきたい。</p>
----------------	---